事務事業評価シート
 平成 29 年 3 月 1 日作成

 28 年度
 38 政策体系 1 6 56 予算区分浄化槽 2 1 1 0
 評価対象 平成 27 年度 評価実施 平成

事務	事業名	浄化槽市町村整備推進事業							担当 課所名 課所名 課所 担当係名			衛生課 浄化槽担当		
											新規事業・継続事業		継続事業	
<b>₩</b> Δ+	· 振興計画	政 策 1 自然と歴史に囲まれた住みよい生活環境整例							実施計画事業・一般事業 一			一般事業		
	<sub>灰哭</sub> 計画 攺策体系	基本施策 6 生活環境の整備							事業	総合戦略事業該当			該当	
	以米州水	基本事業 56 生活排水及びし尿処理対策の推進							未区	単	<b>≜独事業∙</b> 衤	甫助事業	補助事業	
マ告	会計	款	項	目		J	大事業名	Ż	分		任意的·郭	<b>養務的</b>	任意的事業	
予算 区分	浄化槽	2	1	1	No.						実施力	法	直営	
区力	げし作		-	'							事業分	類	補助·支援事業	
事業計画					浄 <sup>-</sup>	化槽	設置及び	管理等に関	目する条例					

	1) 事務事業の手段・日的、指標									
	① 本事務事業の主な実施内容等を記入して	てください。								
	事業概要(具体的な事務事業の実施内容・進め方)	平成27年	F度実約	責(平成27	年度に実施	をした事業	内容)			
	合併処理浄化槽の設置推進。合併処理浄	60基の設置実績。完成検査の実施、設置業者への指導アドバイス等。浄化槽関								
	化槽の設置及び管理等、またそれらに係る	連の団体や協議会などの	の会合	に出席、意	見交換等	を行った。				
	事務及び現場管理。設置工事に係る費用 は、浄化槽代+工事代金の1割を負担して									
手	1.4 4.7									
段	一般住宅の場合53,000円から116,000	 活動指標	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
	円の範囲で、事業所等は4割負担			(実績)	(見込)	(見込)	(見込)	(見込)		
		設置総数	基	60	50	65	65	65		
		. 7 - 1 - 5 - 7 1 - 7 1 0 1								
	② 対象(本事務事業は、誰・何を対象として	1		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
	50人槽以下の合併処理浄化槽を設置する一般住宅、単独処理浄化槽や汲取り式便槽	対象指標	単位	(実績)	20年及 (見込)	(見込)	(見込)	(見込)		
	から転換する既存住宅、及び工場、店舗等	新設(新築住宅)	基	28	19	30	30	30		
	の事業所	転換(既存住宅)	基	26	22	30	30	30		
le										
目的		事業所,その他	基	6	9	5	5	5		
	③ 意図(本事務事業により、対象をどのよう	な状態・状況にしたいの	かを記え		い。)					
	合併処理浄化槽を低コストで設置ができ	成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	31年度 (目標)		
	る。既存住宅において単独処理浄化槽や汲 取り式便槽の撤去	新設	戸	34	28	35	35	35		
	以り以使僧の撤去		•							
		転換	叿	26	22	30	30	30		
(	4) 結果(本事務事業をどのような結果に結び	つけるのかを記入してくた	<b>さい</b> 。)							
	合併処理浄化槽の普及推進による生活環	上位成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	31年度 (目標)		
	境の保全	設置普及率	%	(美棋)	(日徒)	70	75	(日伝)		
		以但自 <b>以干</b>	70	00	00	70	/3	00		
(	2) 事業費の推移・内訳									
	┃ ┃ 財源内部 ┃ 単位┃ 27年度(宝績)	20年度(目に) /	20年南	-(日煙)	20年前	-(日堙)	つ1左由	(日抽)		

	財源内訳	単位	2/1	+ <b>戊</b> (美額)	281	<u> </u>	291	中度(日標)	30:	牛 <u> </u>	311	丰度(目標)
				15,767		25,890		21,800				
	県支出金											
	地方債			26,400		29,600		27,700				
	その他			32,344		38,172		32,100				
	一般財源			900		858		900				
車	事業費計	千円		75,411		94,520		82,500		0		0
			節		節	事業費	節	事業費	節	事業費	節	事業費
			11	1,530	11	1,830	11	1,900				
貸	事業費 の内訳			6,228		6,938	12	7,000				
		千円	13	17,358	13	17,412	13					
			15	33,287	15	44,168	15	37,000				
			16	17,008	16	24,072	16	19,000				
			22	0	22	100	22	100				
	トータルコスト	千円		75,411		94,520		82,500		0		0
	事業費	国庫支出金県支出金県支の他ーを開東を開東を開東を開東を開東を開東を開東を開東を開東を開東を開東を開東を開東を	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円 事業費 新計 11 12 13 15 16 22	事業費の内訳       千円       15,767         事業費の内記       千円       26,400         その他 千円 32,344       一般財源 千円 900         事業費計 千円 75,411       第事業費         11 1,530       12 6,228         13 17,358       15 33,287         16 17,008       22 0	国庫支出金       千円       15,767         県支出金       千円       26,400         その他       千円       32,344         一般財源       千円       900         事業費計       千円       75,411         節       事業費       節         11       1,530       11         12       6,228       12         13       17,358       13         15       33,287       15         16       17,008       16         22       0       22         0       22       0	事業費の内訳       千円       15,767       25,890         15,767       25,890       29,600         20,400       29,600       29,600         その他       千円       32,344       38,172         -般財源       千円       900       858         事業費計       千円       75,411       94,520         第書業費の内訳       節       事業費       節       事業費         11       1,530       11       1,830         12       6,228       12       6,938         13       17,358       13       17,412         15       33,287       15       44,168         16       17,008       16       24,072         22       0       22       100	事業費の内訳       千円       15,767       25,890         15,767       25,890       29,600         26,400       29,600       38,172         20他       千円       32,344       38,172         38,172       900       858         38,172       94,520         38,172       94,520         38,172       94,520         38,172       94,520         39,520       94,520         39,521       94,520         39,522       94,520         39,522       94,520         39,522       94,520         39,522       94,520         39,522       94,520         39,522       94,520         39,522       98,520         30,741       1,830         11       1,530       11       1,830       11         12       6,228       12       6,938       12         13       17,358       13       17,412       13         16       17,008       16       24,072       16         22       0       22       100       22	事業費の内訳       千円       15,767       25,890       21,800         15,767       25,890       21,800         26,400       29,600       27,700         20他       千円       32,344       38,172       32,100         -般財源       千円       900       858       900         事業費計       千円       75,411       94,520       82,500         事業費       節       事業費       節       事業費       節       事業費         11       1,530       11       1,830       11       1,900         12       6,228       12       6,938       12       7,000         13       17,358       13       17,412       13       17,500         15       33,287       15       44,168       15       37,000         16       17,008       16       24,072       16       19,000         22       0       22       100       22       100	事業費の内訳       千円       15,767       25,890       21,800         15,767       25,890       21,800         20,400       29,600       27,700         20,400       29,600       27,700         20,400       29,600       27,700         20,400       38,172       32,100         20,400       858       900         858       900         858       900         858       900         858       900         858       900         858       900         858       900         858       900         858       900         858       900         858       900         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         82,500       82,500         8	国庫支出金	国庫支出金 千円

前年度の評価結果	評価結果を受けて実施した具体的な改革・改善の取組について記入してください。(事業終了の場合は記入不要)
	この欄は、「平成27年度事務事業に対する評価」を踏まえた平成29年度に実施する取組につい
	て、平成29年度に実施する事務事業評価において記入

### 2 視点別評価【Check】

<u>2</u>	倪息別評価【Check】										
	① 政策体系との整合性(オ	事業の目	的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?								
目的	結びついている	理由· 改善案									
平的	② 公共関与の妥当性(本語	事務事業は	t、町が実施しなければならないですか? 民間等に委ねることはできませんか?)								
的妥当性の評	A1 町が実施しなければな らない	理由· 改善案									
価	③ 対象・意図の妥当性(本	③ 対象・意図の妥当性(本事務事業の現状や成果から考え、対象や意図を見直す必要がありますか?)									
Щ	A 妥当である	理由· 改善案									
	④ 事務事業の成果向上の	余地(本事	務事業の成果は出ていますか? 内容や進め方などを見直すことで成果を向上できますか?)								
有効性	A 成果向上の余地はない	理由· 改善案									
性の	(5) 類似する事務事業との統合・連携の可能性(類似の目的や活動形態を持つ事務事業がはかにありますが? ある場合、統合・連携の可能性										
評価		理由• 改善案	類似する事務事業名								
効	⑥ 事業費・人件費の削減:	余地(本事	務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減させることができますか?)								
率性の評価	A 削減の余地はない	理由· 改善案									
公平	⑦ 受益者負担の適正化余均	也(本事務事	事業の受益者は誰ですか? 目的や成果から考え、受益者負担を見直す必要性がありますか?)								
性の評価	A1 受益者負担は求める必 要がない	理由· 改善案	現状で良い。								
終了			・可能性(本事務事業は、どんな状況・状態になれば終了等(終了・休止・縮小)となりますか?)								
等の条件	事業の完全委託が実施で	きた場合									

#### 3 視点別評価結果に基づく総括と今後の方向性等【Action 1】

(1) 今後の事務事業の方向性 (上記「2 視点別評価の『②~⑦においてB、C、Dのいずれか』を選択し、改善等が必要と評価 したものを4項目まで記入してください。)							
(2) 上記(1)に基づいた改革・改割	善案等を記入してください。(事務事	業終了の場合は記入不要)					
(3) 上記(2)を実現する上で、解決すべき課題・障壁、また、その解決策等を記入してください。 (4) 今後の事務事業の方針							

#### 4 内部評価における総括【Action2】

2及び3の結果を踏まえた総括事項、特記事項等を記入してください。(3の(2)で「A現状維持、D事務事業終了」を選択した場合の理由等も記入) 合併処理浄化槽の設置推進及び、単独処理浄化槽及や汲取り式便槽の全廃を目的とし今後も整備を進める。

A 現状維持(従来通り実施)

 
 事務事業評価シート
 平成 29 年 3 月 1 日作成

 28 年度
 39 政策体系 1 6 56 予算区分 一般 4 2 2 23
 評価対象 平成 27 年度 評価実施 平成 28 年度

事務	事業名	净化槽設置管理等特別会計繰出金								当  所	課所名 担当係名		衛生課 浄化槽担当	
7 W T N TO THE EAST OF THE PARTY OF THE PART						新規事業·継続事業			継続事業					
<b>WA</b> +	医朗扎麻	政策	策 1	自然と	歴史に	囲まれた位	主みよし	\生活環境整備		実	拖計画事業	· <b>一</b> 般事業	一般事業	
	<sub>振興計画</sub> 攺策体系	基本的	6	生活環	境の塾	<b></b>			事業	総合戦略事業該当			該当	
T 071	以來仲亦	基本事	業 56	生活排	水及で	バル尿処理	対策の	推進	<b>耒</b> 区	肖	∮独事業•ネ	甫助事業	単独事業	
マ畑	会計	款	項	目		J	大事業	名	分		任意的·郭	<b>養務的</b>	任意的事業	
予算 区分	fi几	4	2	2	No.	タル 博売号	巴佐亚	5.杜则合弘绵山今	''		実施力	法	直営	
四刀	区分   一般   4   2   2   No.   2   P化槽設置管理等特別会計繰出金							事業分	類	その他内部事務事業				
事業計画	事業 <mark>単年度繰返し</mark> 事業 □ 昭和 13 ~ 平成 根拠法令、 計画 単年度繰返し 期間 □ 平成 13 ~ 平成 例規・要綱													

	(1	) 事務事業の手段・目的、指標										
		① 本事務事業の主な実施内容等を記入して	てください。									
		事業概要(具体的な事務事業の実施内容・進め方)	平成27年度実績(平成27年度に実施した事業内容)									
		浄化槽設置管理等特別会計に対し、浄化	浄化槽設置管理等特別会計に対し、繰出金を支出する。地方債元金及び利息の									
		槽使用料等の収入をもって、歳入が不足す	償還等に充当する。									
		ると認められるものに相当する額を、繰出金として支出する。										
H	手	地方債元金及び利息の償還金等に充当す										
ŧ	设	る。	活動指標	0	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
				<b>→</b> E	(実績)	(見込)	(見込)	(見込)	(見込)			
			繰出金	千円	40,000	43,000	40,000	40,000	40,000			
H		② 対象(本事務事業は、誰・何を対象として	いるのかた記 ス し ケノださ	( ( )								
		<ul><li>資 対象(本事務事業は、誰*何を対象として)</li><li>・浄化槽設置管理等特別会計</li></ul>			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
		・浄化槽使用料等では、不足する歳入を補	対象指標	単位	(実績)	(見込)	(見込)	(見込)	(見込)			
		う。	収益勘定繰入金	千円	30,732	32,680	30,700	30,700	30,700			
			資本勘定繰入金	千円	9,268	10,320	9,300	9,300	9,300			
ı	目的											
É	的	○ 立四/上古功吉米に   11 4/4/10   12	4-11-45 11-12-1-1-1-0	1. + === 1	71 - 74:4	-1.						
		③ 意図(本事務事業により、対象をどのよう 浄化槽設置管理等特別会計の適正な執行			人してくださ 27年度	い。) 28年度	29年度	30年度	31年度			
		伊化僧故世官理寺付別云司の過止な執1]	成果指標	単位	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
			財政比率	%	32	30	30	28	28			
		〉 妹田 / 木恵改恵 巻たじの トミた 妹田 ! - タキナッデ	つけてのかも記るしてノナ	*+1	\							
	4	) 結果(本事務事業をどのような結果に結び、 浄化槽市町村整備推進事業により、合併			) 27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
		処理浄化槽の設置を推進し、経費回収率を	上位成果指標	単位	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
		高め、浄化槽設置管理等特別会計の健全な	経費回収率	%	66	68	70	72	74			
		執行を図る。										
	(2	)事業費の推移・内訳										
	\2	/ 尹木貝の雅物 門訓										

		財源内訳	単位	274	年度(実績)	284	年度(見込)	291	拝度(目標)	30:	年度(目標)	314	拝度(目標)
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円										
		一般財源	千円		40,000		43,000		43,000				
	事	事業費計	千円		40,000		43,000		43,000		0		0
	業			節	事業費								
+л.	費			2	23,800	2	26,130	28	43,000				
投	早	事業費 の内訳		23	16,200	23	16,870						
入皇													
量			千円										
		トータルコスト	千円		40,000		43,000		43,000		0		0
		トータルコスト	千円		40,000		43,000		43,000		0		

前年度の評価結果	評価結果を受けて実施した具体的な改革・改善の取組について記入してください。(事業終了の場合は記入不要)
	この欄は、「平成27年度事務事業に対する評価」を踏まえた平成29年度に実施する取組について、平成29年度に実施する事務事業評価において記入

### 2 視点別評価【Check】

	① 政策体系との整合性(オ	事業の目	的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?
目的	結びついている	理由· 改善案	「浄化槽設置管理等特別会計の適正な執行」→「合併処理浄化槽の設置を推進し、河川等の公共用水域の水質を保全すること」になり、行政として非常に重要である。
妥	② 公共関与の妥当性(本語	事務事業に	は、町が実施しなければならないですか? 民間等に委ねることはできませんか?)
当性の	A1 町が実施しなければな らない	理由· 改善案	合併処理浄化槽の設置推進のための繰出金であり、合併処理浄化槽により生活雑排水を処理し公共水域の水質を保全することは、環境保全のための取組であり、行政として非常に重要なことである。
評価	③ 対象・意図の妥当性(本	事務事業	の現状や成果から考え、対象や意図を見直す必要がありますか?)
Щ	A 妥当である	理由• 改善案	浄化槽設置管理等特別会計の適正な執行のため妥当である。
	④ 事務事業の成果向上の	 余地(本事	務事業の成果は出ていますか? 内容や進め方などを見直すことで成果を向上できますか?)
効	A 成果向上の余地はない	理由· 改善案	今後とも適正な執行に努める。
性の	⑤ 類似する事務事業との統分	合・連携の⋤	可能性(類似の目的や活動形態を持つ事務事業がほかにありますか? ある場合、統合・連携の可能性等は?)
評			類似する事務事業名
価	A1 類似する事務事業はない	理由• 改善案	
効率	⑥ 事業費・人件費の削減:	余地(本事	務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減させることができますか?)
性の評価	A 削減の余地はない	理由· 改善案	
公平	⑦ 受益者負担の適正化余り	也(本事務事	事業の受益者は誰ですか? 目的や成果から考え、受益者負担を見直す必要性がありますか?)
性の評価	A1 受益者負担は求める必 要がない	理由• 改善案	
終了等の条件			・・可能性(本事務事業は、どんな状況・状態になれば終了等(終了・休止・縮小)となりますか?) 合併処理浄化槽の設置を推進し、経費回収率を高める。

3 視点別評価結果に基づく総括	視点別評価結果に基づく総括と今後の方向性等【Action1】								
(1) 今後の事務事業の方向性 (上記「2 視点別評価の『②~⑦においてB、C、Dのいずれか』を選択し、改善等が必要と評価 したものを4項目まで記入してください。)									
(2) 上記(1)に基づいた改革・改善	善案等を記入してください。(事務事	業終了の場合は記入不要)							
(3) 上記(2)を実現する上で、解え	決すべき課題・障壁、また、その解決	と 策等を記入してください。	(4) 今後の事務事業の方針						
			A 現状維持(従来通り実施)						

### 4 内部評価における総括【Action2】

2及び3の結果を踏まえた総括事項、特記事項等を記入してください。(3の(2)で「A現状維持、D事務事業終了」を選択した場合の理由等も記入) 分流式下水道(合併処理浄化槽)に充てるための繰出金であり、経費回収率を高め繰出金額を縮小できるように努める。

事務事業評価シート平成 29 年 3 月 1 日作成28 年度40政策体系 1 6 56 予算区分 浄化槽 4 2 2 24 評価対象 平成 27 年度 評価実施 平成 28

事務	§事業名	浄化槽転換事業							担当 課所名 課所名 担当係名			衛生課 浄化槽担当		
										新規事業·継続事業		迷続事業	継続事業	
<b>WA</b>	振興計画	政策	策 1	自然と	歴史に	囲まれた信	Èみよし	\生活環境整備		実施計画事業·一般事業		· <b>一</b> 般事業	一般事業	
	<sup>派與計画</sup> 政策体系	基本的	5 第 6	生活環	境の整	<b>Ě備</b>			事業	糸	総合戦略事業該当		該当	
工07	以水件水	基本事業 <mark>56</mark> 生活排水及びし尿処理対策の推進						推進	未区	単	҈独事業∙ネ	甫助事業	単独事業	
予算	会計	款	項	目	大事業名			Ż	分		任意的·郭	<b>義務的</b>	任意的事業	
区分	浄化槽	4	2	0	No.	浄化槽転	協車	生	]		実施力	ī法	直営	
四刀	がし作	4			24	がして音楽な	次十二	<b>卡</b> 其			事業分	類	現金·現物給付事業	
事業 <mark>単年度繰返し</mark> 事業 □ 昭和 13 ~ 平成 根拠法令、 別間 □ 平成 13 ~ 平成 例規・要綱						小	鹿野	町合併処	理浄化槽軸	云換費補助金交付要綱				

_ (	1) 事務事業の手段・目的、指標									
	① 本事務事業の主な実施内容等を記入して	てください。								
	事業概要(具体的な事務事業の実施内容・進め方)	平成27年度実績(平成27年度に実施した事業内容)								
	単独処理浄化槽や汲取り式便槽から合併	単独処理浄化槽16基	、汲取「	リ式便槽8	基が合併処	D理浄化槽	に転換した	0		
	処理浄化槽への転換を促進するため、便槽									
	等の撤去に10万円、配管に係る費用に20									
手	万円(いずれも上限)の補助金を交付する事									
段	業   利用者からの申請により手続きを進め、浄	 活動指標	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
	化槽完成検査時に合わせて設置状況を確			(実績)	(見込)	(見込)	(見込)	(見込)		
	認し、検査合格後に補助金を交付する。	転換基数	基	24	23	30				
		撤去費	千円	2,000	2,300	3,000				
		配管費	千円	4,800	4,600	6,000				
	② 対象(本事務事業は、誰・何を対象として		(۱ <sub>۰</sub> )							
	単独処理浄化槽や汲取り式便槽から合併	対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)	31年度 (見込)		
	処理浄化槽へ転換を図る者   また、それに伴い単独処理浄化槽等の撤	単独処理浄化槽の撤去	基	16	14	20	( <u>) </u> /	(31.2)		
	去促進	汲取り式便槽の撤去	基	8	9	10				
目的										
"	③ 意図(本事務事業により、対象をどのよう	な状態・状況にしたいの	かを記え	入してくださ	(\ <sub>0</sub> )					
	補助金の交付により転換の費用を軽減す	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
	る。			(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
		転換人口	人	76	70	140				
(	4 結果(本事務事業をどのような結果に結び	つけるのかを記入してくた	<u>:さい。</u>							
	補助金の交付により合併処理浄化槽への 転換を推進し、単独処理浄化槽等の全廃を	上位成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	31年度 (目標)		
	目的とする。	設置普及率	%	60	65	70	75	80		
		_								
(	2) 事業費の推移·内訳									
	1 1 时活由3 1 3 点 1 07 年度(中纬)	20年度(日:1)   4	20万亩	(日抽)	のの左向	(日抽)	21年中	/口(冊)		

		財源内訳	単位	274	F度(実績)	284	F度(見込)	291	耳度(目標)	304	耳度(目標)	314	耳度(目標)
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円										
		一般財源	千円		6,800		6,900		9,000				
	事	事業費計	千円		6,800		6,900		9,000		0		0
	業			節	事業費								
投	業費			19	6,800	19	6,900	19	9,000				
1文	[부	事業費 の内訳											
量			千円										
里													
	Ш												
	Ш	1 1 - 1											
		トータルコスト	千円		6,800		6,900		9,000		0		0

前年度の評価結果	評価結果を受けて実施した具体的な改革・改善の取組について記入してください。(事業終了の場合は記入不要)
	この欄は、「平成27年度事務事業に対する評価」を踏まえた平成29年度に実施する取組について、平成29年度に実施する事務事業評価において記入
	て、平成29年度に美施りる事務争未計画において記入 

### 2 視点別評価【Check】

	① 政策体系との整合性(ス	ト事業の目	的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?
目的	結びついている	理由· 改善案	環境整備に貢献している。
妥	② 公共関与の妥当性(本語	事務事業は	は、町が実施しなければならないですか? 民間等に委ねることはできませんか?)
ダ当性の評	A1 町が実施しなければな らない	理由· 改善案	町が行うべきである。
価	③ 対象・意図の妥当性(本	事務事業	の現状や成果から考え、対象や意図を見直す必要がありますか?)
<u> </u>	A 妥当である	理由· 改善案	
	④ 事務事業の成果向上の	余地(本事	務事業の成果は出ていますか? 内容や進め方などを見直すことで成果を向上できますか?)
効	A 成果向上の余地はない	理由• 改善案	効果が十分に出ている。
性の	⑤ 類似する事務事業との統分	合・連携の□	」 【能性(類似の目的や活動形態を持つ事務事業がほかにありますか? ある場合、統合・連携の可能性等は?)
の評価		理由• 改善案	類似する事務事業名 なし
効	⑥ 事業費・人件費の削減:	余地(本事	務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減させることができますか?)
率性の評価	A 削減の余地はない	理由· 改善案	
公正	⑦ 受益者負担の適正化余均	也(本事務事	事業の受益者は誰ですか? 目的や成果から考え、受益者負担を見直す必要性がありますか?)
平性の評価	A2 現行の受益者負担は 適正である	理由· 改善案	適正である。
終了	⑧ 事務事業の終了・休止・	縮小の条件	・可能性(本事務事業は、どんな状況・状態になれば終了等(終了・休止・縮小)となりますか?)
「等の条件	単独処理浄化槽や汲取り		

#### 3 視点別評価結果に基づく総括と今後の方向性等【Action1】

・ 伐鼠別評価指来に基づく総括と今後の方向性寺[Action I]									
(1) 今後の事務事業の方向性 (上記「2 視点別評価の『②~⑦においてB、C、Dのいずれか』を選択し、改善等が必要と評価したものを4項目まで記入してください。)									
(2) 上記(1)に基づいた改革・改善	事案等を記入してください。(事務事)	業終了の場合は記入不要)							
(3) 上記(2)を実現する上で、解決すべき課題・障壁、また、その解決策等を記入してください。 (4) 今後の事務事業の方針									
			A 現状維持(従来通り実施)						

### 4 内部評価における総括【Action2】

2及び3の結果を踏まえた総括事項、特記事項等を記入してください。(3の(2)で「A現状維持、D事務事業終了」を選択した場合の理由等も記入) 今後も合併処理浄化槽への転換を推進する。

 
 事務事業評価シート
 平成 29 年 3 月 1 日作成

 28 年度
 41
 政策体系 1 6 56 予算区分 一般 4 2 2 21
 評価対象 平成 27 年度 評価実施 平成 28 年度

事務	§事業名	業名 <b>生活排水路整備促進事業</b>							担課	当 課所 担当係			衛生課 浄化槽担当	
										新規事業・継続事業		迷続事業	継続事業	
<b>WA</b>	振興計画	政分	策 1	自然と	歴史に	囲まれた位	Èみよし	\生活環境整備		実施計画	事業	·一般事業	一般事業	
	<sup>派與計画</sup> 政策体系	基本施策 6 生活環境の整備							事業	総合戦	略事	業該当	該当	
上07	以水件水	基本事業 56 生活排水及びし尿処理対策の推進							未区	単独事	業∙袝	輔助事業	単独事業	
<b>玄</b> 答	会計	款	項	目		大事業名			分	任意	的∙靠	<b>義務的</b>	任意的事業	
予算 区分	一般	4 0		0 0		生活排水路整備事業費		# 車		実施方法			直営	
区刀	区力 一般		生活排水路整備事業費		用尹木貝		事	業分	類	現金·現物給付事業				
事業計画	単年度総	操返し	事業 期間	四和 四和	1.3	~ 平成		根拠法令、 例規•要綱	小	 鹿野町合信	并処:	理浄化槽軸	云換費補助金交付要綱	

	(1) 事務事業の手段・目的、指標									
	① 本事務事業の主な実施内容等を記入して	ください。								
	事業概要(具体的な事務事業の実施内容・進め方)					をした事業	内容)			
		・放流ポンプ槽5基、生活排水路1件の実績								
		<ul><li>申請書の受付、交付</li></ul>								
		<ul><li>浄化槽完成検査時に</li></ul>	合わせた	:設置状況	の確認					
l	☆ 放流ポンプ槽の設置に一律5万円、 排水 ┃									
Ē		マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	324 TT	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
	利用有の申請により事務処理を進め、美	活動指標	単位	(実績)	(見込)	(見込)	(見込)	(見込)		
	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	放流ポンプ	基	5	4	8				
	- · · · · · ·	生活排水路	基	1	2	3				
	② 対象(本事務事業は、誰・何を対象としてし	いるのかを記入してくだ	さい。)							
	浄化槽の本体工事以外に必要な設備工事		単位	27年度	28年度 (見込)	29年度 (見込)	30年度 (見込)	31年度 (見込)		
	に係る補助金の交付。	 補助額 (放流ポンプ)	7 m	(実績)			(兄 <u>少</u> )	( <u>兄込</u> )		
	<u> </u>	補助領 (放流パンプ)	千円	250	200	400				
		補助額(生活排水路)	) 千円	116	300	450				
自由										
ľ	③ 意図(本事務事業により、対象をどのような	な状態・状況にしたいの	かを記ん		い。)					
	通常では浄化槽の設置が困難な場合で		単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
	も、本事業により設置が可能になる。	上江北 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- IIL	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
	利用者も費用負担が大幅に軽減できる。	生活排水路等設置件数	件	6	5	5	5	5		
	④ 結果(本事務事業をどのような結果に結びて	つけるのかを記入してく	ださい。)							
	金銭的な負担が大きい工事であるため、本事業により効果が十分に発揮されてい	上位成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	31年度 (目標)		
		設置普及率	%	60	65	70	75	80		
	合併処理浄化槽の普及に繋がる。									
	財源内訳   単位   27年度(実績)	28年度(見込)	29年度	(目標)	30年度	(目標)	31年度	(目標)		
	国庫支出金 千円									
	県支出金 千円									

		財源内訳	単位	275	F度(実績)	284	拝度(見込)	291	耳度(目標)	304	年度(目標)	314	耳度(目標)
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円										
		一般財源	千円		366		500		850				
	事	事業費計	千円		366		500		850		0		0
	業			節	事業費								
投	費			19	366	19	800	19	850				
乜	貝	事業費 の内訳											
入皇			千円										
量													
		トータルコスト	千円		366		500		850		0		0

前年度の評価結果	評価結果を受けて実施した具体的な改革・改善の取組について記入してください。(事業終了の場合は記入不要)
	この欄は、「平成27年度事務事業に対する評価」を踏まえた平成29年度に実施する取組について、平成29年度に実施する事務事業評価において記入

### 2 視点別評価【Check】

	忧思剂計画[Check]		
	① 政策体系との整合性(本	本事業の目	的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?
目台	結びついている	理由· 改善案	全ては快適な生活環境を演出するものであり整合性がある。
的现	② 公共関与の妥当性(本語	事務事業に	・ は、町が実施しなければならないですか? 民間等に委ねることはできませんか?)
的妥当性の証	A1 町が実施しなければな らない	理由· 改善案	公費で行う事業である。
評価	③ 対象・意図の妥当性(本	事務事業	の現状や成果から考え、対象や意図を見直す必要がありますか?)
ш	A 妥当である	理由· 改善案	
	④ 事務事業の成果向上の:	余地(本事	務事業の成果は出ていますか? 内容や進め方などを見直すことで成果を向上できますか?)
効	A 成果向上の余地はない	理由· 改善案	本事業は必要とする場合のみ、且つ利用の有無は住民が選択するが現状維持は必要。
性の	⑤ 類似する事務事業との統合	 合・連携のF	・ 可能性(類似の目的や活動形態を持つ事務事業がほかにありますか? ある場合、統合・連携の可能性等は?)
評価	A1 類似する事務事業はない	理由• 改善案	類似する事務事業名
効 率			
性の評価	A 削減の余地はない	理由· 改善案	
公平	⑦ 受益者負担の適正化余均	也(本事務를	事業の受益者は誰ですか? 目的や成果から考え、受益者負担を見直す必要性がありますか?)
性の評価	A1 受益者負担は求める必 要がない	理由· 改善案	
終っ	⑧ 事務事業の終了・休止・	縮小の条件	・・可能性(本事務事業は、どんな状況・状態になれば終了等(終了・休止・縮小)となりますか?)
終了等の条件	浄化槽の設置工事が無くな	ならない限	り必要

### 3 視点別評価結果に基づく総括と今後の方向性等【Action1】

(1) 今後の事務事業の方向性 (上記「2 視点別評価の『②~⑦においてB、C、Dのいずれか』を選択し、改善等が必要と評価 したものを4項目まで記入してください。)									
(2) 上記(1)に基づいた改革・改善	事案等を記入してください。(事務事	業終了の場合は記入不要)							
(3) 上記(2)を実現する上で、解決	やすべき課題・障壁、また、その解決	と 策等を記入してください。	(4) 今後の事務事業の方針						

#### 4 内部評価における総括【Action2】

2及び3の結果を踏まえた総括事項、特記事項等を記入してください。(3の(2)で「A現状維持、D事務事業終了」を選択した場合の理由等も記入) 合併処理浄化槽の設置に付随した普及促進事業である。

A 現状維持(従来通り実施)